

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	三浦麻子	所属	関西学院大学
研究会等名称	研 18001 サイエンスコミュニケーション研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 13名 (うち認定心理士 0名) 非会員 3名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会の目的は、心理学の学術的成果をなるべく正しくわかりやすく社会に向けて情報発信する手段としてのサイエンスコミュニケーション、特に科学記事として伝達するサイエンス・ライティングを実践し、習熟することにある。今年度も以下のような諸活動を、特に心理学の学術的/社会的価値と密接に関わる再現性問題に関するトピックを中心に展開した。</p> <p><u>論文</u> 高橋康介 (2019). <u>気軽に始めるサイコミュ ～TODA RADIO の実際～</u> 中京大学心理学研究科・心理学部紀要, 18(1), 55-59.</p> <p><u>シンポジウム話題提供</u> 三浦麻子 (2019). 心理学の再現性危機 日本心理学会第 82 回大会シンポジウム「シチズン・サイエンスを通じた「心理学の再現性の危機」への挑戦：認定心理士の会の新たな取り組み」(2018.9.26 仙台国際センター)</p> <p><u>シンポジウム協賛</u> 日本発達心理学会第 30 回大会シンポジウム「今そこにある危機：再現可能性問題をめぐる現状と展望」 ※三浦麻子・山田祐樹が企画者として参画し、三浦麻子は話題提供「心理学における再現可能性問題一概説一」も行った。</p> <p><u>声明公表</u> 心理学者有志による「心理学研究の素朴な引用によって差別的言動を正当化する行為に対する意見声明」の公表 <a href="https://psyarxiv.com/xh7fi/">https://psyarxiv.com/xh7fi/</a> ※三浦麻子・山田祐樹・平石界が発起人として参画した</p> <p><u>Web 記事</u> 山田祐樹・佐々木恭志郎・郷原皓彦 ネオサイキサイエンス <a href="https://note.mu/momentumyy/m/m77f2becf2d56">https://note.mu/momentumyy/m/m77f2becf2d56</a></p> <p>今後も各媒体での多種多様なサイエンスコミュニケーション実践を引き続き継続すると共に、活動の周知および拡大のために努力する。また、三浦は日本心理学会広報委員長として、山田は同委員として、これまでの本研究会での経験を活かして、学会の広報活動にも貢献したい。</p>		

(様式5)

2019年 3月 29日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 サイエンスコミュニケーション研究会

研究会番号 研18001

助成金額 ¥0

年 月 日

項 目

金 額

支出合計

¥0